

備前市事務事業評価表

事務事業名	公共下水道施設整備事業		コード	01-01-10-01
			担当課・係	下水道課 工務係
			担当者	香々美 弘和
事業実施期間	昭和三十五年～平成二十七年		電話	0869-66-9702
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり		
	小項目（施策）	下水道		

事業について	
目的 (何のために)	下水道施設（管渠、処理場）を整備することにより備前。三石・日生処理区域内の水質浄化を促進し、公共用水域の水質浄化を図り、衛生的・快適な生活を送る。
対象 (誰・何を対象に)	公共下水道全体計画における備前・三石・日生処理区域内の住民（36,145人）
内容	備前・三石・日生処理区域における計画面積 1,643ha の下水道施設の整備

事業の結果						
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)			
管路延長	5,684 m	4,639 m				
供用整備人口	501 人	344 人				
供用整備面積	31.2 ha	15.6 ha				
区域内行政人口		35,582 人				
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	国庫補助金等 735,949	国庫補助金等 328,576	国庫補助金等 882,920	国庫補助金等 312,791	国庫補助金等	国庫補助金等
	人件費 30,670	受益者負担 419,700	人件費 40,920	受益者負担 546,600	人件費	受益者負担
	合計 766,619	一般財源等 18,343	合計 923,840	一般財源等 64,449	合計 0	一般財源等 0
必要人員	4.45 人	6.10 人				
結果指標①	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比			
活動にかかるコスト	766,619,000 円	923,840,000 円	0.00%			
単位当たりコスト①	1,050,163 円	2,231,498 円				
結果指標②	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比			
活動にかかるコスト	766,619,000 円	923,840,000 円	0.00%			
単位当たりコスト②	24,571,122 円	59,220,513 円				

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	経済性・早期実現性などから、合併浄化槽などによる整備が適している場合があるので、整備方法について再検討を行い、限られた財源を有効に活用し、公共下水道の整備促進を図る。		
成果指標名	人口普及率	式又は説明	人口普及率(%)=供用整備人口累積/(全対象人口)×100
	17年度	18年度	
成果指標量	65.1	66.9	
対前年比	-	102.76%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成27年度（延期の予定）

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)				
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E>	B		
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	・水洗化による環境改善に対する住民の認識は広まっており、早期水洗化を望む声が多くある。そのため、早期に公共下水道の整備を行う必要があるが、経済性・早期実現性などから、合併浄化槽などによる整備が適している場合があるので、整備ほうほうについて再検討の必要がある。		
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である				
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である				
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>			B	
効率性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	・節水型の生活機器等の普及により家庭からの排出水量が減少しているため、計画水量の見直しにより管径を小さくし、コストの縮減を図っている。		
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい				
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している			有効性評価<A~E>	B
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある			課題認識	・到達目標年度は財政的な理由により延期の予定である。 ・整備面積を小さくし、人口密集地の整備を重点的にしている。 ・下水道の整備は周辺住民に交通規制・騒音・振動などで迷惑をかけるので、説明会・広報誌などで下水道の必要性を今以上に認知してもらう必要がある。
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている					

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	前年度同様、計画区域・整備方法について再検討を行い、限られた財源を有効に活用し、公共下水道整備の促進を図っている。
目標値	結果指標量① 138ha	結果指標量② 500人		
成果指標量	68.4%			

総合評価	
今後も、人口密集地の重点的な整備、計画区域・整備方法の再検討により、効率化・コスト削減を行い、公共下水道の整備促進を図る必要がある。	評価区分 <A~E>
	B

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	計画区域・整備方法の見直し	平成19年度～	水洗化の促進・コスト削減